問港町自治会長

ポンオコツナイ川の遊歩道に雑草が茂っており、歩行者の妨げとなっています。草刈の作業など、どのような状況になっていますか。

答建設課長

令和2年度末に川の沿線の自治会、建設業協会を含めた維持管理組織の設立を予定しておりましたが、事務の遅延から令和5年の設立と運営に向けた準備を進めています。

問港町自治会長

河川内の清掃に関しても、維持管理組織で考慮していただきたい。

答建設課長

フェンスから内側については、河川が2級河川となっているため、北海道の管理となっており、北海道で対応します。維持管理組織に合わせて進めていくのかは不明ですが、ともに進めていきます。

問栄町自治会長

令和2年度にごみステーションの現状を調査し、早急に対応するとのことでしたが、修繕を要するごみステーションが多く見受けられます。

早急に修繕を進めるために、各自治会で調査を行い、修繕の要望をするというのはどうでしょうか。

答住民生活課長

令和2年度に全箇所調査を行い、修繕の優先度を「高」、「中」、「低」に設定し、「高」については、順次修繕を行っていますが、2年間で優先度が「中」から「高」になってきています。再度、全町のごみステーションを調査し、来年度以降修繕を進める予定ですが、ごみステーションの現状を把握している自治会からも聞き取りを行い対応します。

問共栄自治会長

令和6年3月に共栄小学校が閉校となりますが、閉校に伴い、自治会としてどの様な対応をすることになりますか。

答教育長

今後は、地域組織で行う閉校行事をどの様に行っていくかを話し合うことになり、必要な経費を町に要望していただくことになります。

式典については、教育委員会が主催となり執り行ないます。

問宮下町自治会長

町営住宅の近くをオコツナイ川が流れていますが、大雨の時に危険ではないのか、町の管理方針についてお聞きします。

宮下町の町有住宅は修繕中の場所もありますが、空き家が増えているため、空き家を解消する対応策はありますか。

答建設課長

平成10年、13年の災害時に河川から水が溢れた事例があります。以降その様な事例がないため、現状を維持しておりますが、降雨時に現地確認を行い、検討したいと考えています。

答税財管理課長

宮下町の町営住宅については、転出などの事由により、空き家が増えている状況にあります。また、9月1日時点で2戸募集しており、それ以外については、修繕中であります。

団地の空き家については、宮下団地に限らず、民間の住宅に移住するなどの事由により、昨年から増えている状況です。将来的には、老朽化する団地をすでに建て替えなどを行っている団地同様に町営住宅という用途を廃止して、町有一般住宅に用途を変更する場合があると考えています。

問沢木自治会長

国道から海側に向かう通路を通って釣り人が多く訪れていますが、かなりごみが捨てられている状況にありますので、通路に支障物を配置するなどして、通行できないようにすることはできないでしょうか

答建設課長

場所、土地の所有者などを確認のうえ、検討します。

町長コラム

雄武町長
石井友藏

皆さん、こんにちは。

秋も深まり、野山の木々の葉も色づき、冷たい風に冬の到来が近づいていることを感じます。

今年は例年になく秋鮭の来遊が全道に及んでいるということで、わが町においても昨年を上回る豊漁となっております。コロナ禍においても、浜が活気付き、地域が元気になることは、大変喜ばしいことです。

また、川にもたくさんの秋鮭が遡上していますので、来春に孵化する元気な稚魚たちが再び雄武の前浜に立派な鮭となって戻って来ることを願うと同時に、期待をするところです。

話しは変わりますが、雄武町内における交通死亡事故ゼロ日数が本年 12 月 13 日㈫をもって目標の２０００日に達する見込みです。これは、交通安全に対する皆さんの意識の高さと、交通指導員をはじめ関係機関の皆さまによる地道な啓発活動の努力の結果です。これから冬に向かって交通事故も多くなる時期となりますが、より一層の安全運転と交通ルールの遵守に努めていただき、町民一丸となって目標達成を目指したいと思いますので、皆さんのご協力をお願いします。

季節の変わり目には体調を崩しやすくなりますが、健康には十分に留意され、ご自愛くださいますようお祈りいたします。

Activity Report

地域おこし協力隊　～活動レポート～

地域おこし協力隊
ふるさと学習支援員
久保田　智子さん

秋晴れの心地よい季節も過ぎ、冬の到来です。日中と夜の寒暖差が激しく、『寒暖差疲労』を感じてしまう方もいらっしゃるようです。

寒暖差が大きくなると、からだが体温調整をおこなうために過剰に自律神経を働かせてしまい疲労感や倦怠感がでてきてしまう、頭が痛くなってしまうといった症状が現れることがあります。そんなときは、ぬるま湯に首までつかり、ゆっくりとリラックスすることで、からだの緊張をほぐすとともに自律神経を整えられます。

先日実施したチャレンジキッズ沢木地区バージョンについて紹介します。

今回は、子どもたちが自分のからだを自分の意思（指令）で動かすことができれば、ケガの防止、集中力向上、学力向上に繋がるのではないかと考え、リズムトレーニングを取り入れました。リズムで一番大切な「一定の周期で繰り返される音」から感じるリズム感を養うためには「拍」と「小節」の感覚を身に付けることが大切です。この感覚がリズム感の幹となり、枝葉を実らせる土台になってきます。

音楽に合わせ簡単な手拍子、ジャンプ、ステップ、ラン、ゲームなど、さまざまな内容を組み合わせ行っていきます。子どもたちからは「何それ」「できない・・」などの声もありましたが、「コツを教えてください」と聞いてくる子どももいます。

こうして「できない」から「できる」に変わったとき、子どもの自信に繋がり、次のステップアップができると思います。

また、教育の研修に行く機会があり、そこでの講義の内容で皆さまと共有したいお話しがありましたので、一部ご紹介したいと思います。

子育てへのメッセージ

・子育ての方法は一つかもしれないし、複数かもしれない。いや、もしかしたらこれが正しいという方法はないかもしれない。

・子育ての方法は、一人で探すこともあれば、みんなで探し考えて見つけることもある。

・子育ては、間違ったり、立ち止まったり、行きつ戻りつする中で深まっていく。

以上のようなことを子育てに役立てて頂ければと思います。

※地域おこし協力隊でこのコーナーを順番に担当しています。お楽しみに。